

サイクル&ライドに関する調査研究(その3)

大阪工業大学 正員 金丸次男
大阪府立工業高専 正員 高岸節夫

1. まえがき

鉄道駅周辺に駐車されている自転車群を対象に、昭和52、53年の両年にわたって駐車実態調査と調査票によるアンケート調査を実施した。52年分については昭和53年度全国大会にその1、その2にわけて発表しており、¹⁾ここでは53年調査分についてそれらに追加する形で報告する。本調査研究の目的は既報のとおりであり、今後は調査結果を総合的に分析していき、その報告は別の機会にするつもりである。

2. 調査概要

新たな調査駅は下記の5駅で、合計9駅の位置は図-1に示される。調査の種類、方法は前年分と同様で、各調査(滞留台数調査①、出入台数調査②、アンケート調査③)の実施日時は下記のとおりである。

	あびこ(地下鉄)	我孫子町(阪和線)	上新庄(阪急)	長居(地下鉄)	長居(阪和線)
①					
②	11/14(火) 7~19時	10/2(月) 7~19時	11/16(木) 7~19時	—	—
③	6/26(月) 10~12時	6/26(月) 10~12時	9/12(火) 10~12時	9/26(火) 10~12時	9/26(火) 10~12時

3. 出入および滞留の状況

出入台数、滞留台数の時間的変化を図-2から図-4に示す。

入車は3駅いずれも観測を開始した7時台が最高で、阪和線我孫子町では16時から19時にかけて微増するが他は11時以降はほとんど変化がなく少量である。出車はいずれも15時までほぼ変化がなく、それ以降に増加するが、地下鉄あびこは最後の観測の18時台でもなお増加している。滞留台数は3駅とも8時頃から観測終了の19時までずっと置場容量を上回っている。出入、滞留ともに52年調査分と同じパターンとみなせる状況が観察された。

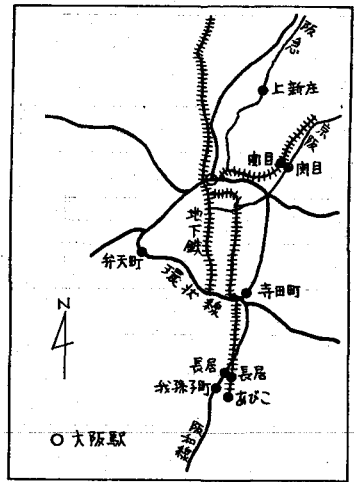


図-1 調査実施駅

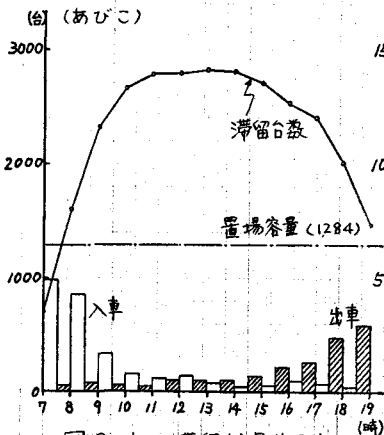


図-2 出入・滞留状況(あびこ)

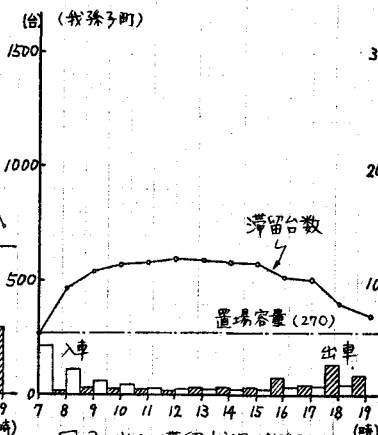


図-3 出入・滞留状況(我孫子町)

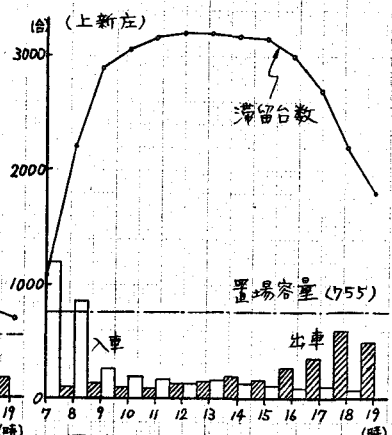


図-4 出入・滞留状況(上新庄)

4. アンケート調査の配布・回収状況と回答者の属性等

- (1) 配布・回収状況 表-1に、52年分4駅および合計9駅も含めて一覧表にして示す。
- (2) 回答者の属性(5駅計・%) 性別(男61,女39)。年齢(10代27,20代26,30代19,40代17,50代以上11)。職業(学生32,事務職22,技術職15,管理職7,その他各5%以下)
- (3) 当日の自転車利用目的(5駅計・%) 出勤57,登校29,買物5,その他各3%以下

表-1 配布・回収状況一覧表

対象駅名	あびこ (地下鉄)	我孫子町 (阪和線)	上新庄 (阪急)	長居 (地下鉄)	長居 (阪和線)	計(53年分 5駅)	52年分 4駅計	9駅計
配布数 C	2,327	448	2,940	2,026	484	8,225	3,662	11,887
回収数 D	531	66	592	420	94	1,703	711	2,414
回収率(D/C)	22.8	14.7	20.1	20.7	19.4	20.7	19.4	20.3
有効回答数 E	525	62	591	420	94	1,692	697	2,389
有効回答率(E/C)	22.7	13.8	20.1	20.7	19.4	20.6	19.0	20.1

5. 有料時における置場利用について

置場が有料化された場合の設問に対する回答構成(5駅計・%)は、置場利用については(標本数1,694)、「料金額により置場利用を考える」59.0(52年分46.9)、「置場には置かない」39.9(51.1)で、このうちの置場に置かない人を対象とした置場外の放置が禁止された場合については(標本数676)、「遠くても無料の置場か禁止区域外に置く」42.3(38.8)、「仕方がないので有料置場に入れる」30.2(24.1)、「自転車利用をやめる」24.7(26.9)であった。

53年分の方が有料制を受け入れる人がやや多く、料金額も880円/月と67円高くなった。

6. 他の交通手段への転換について

駅別に転換状況を示すと表-2のようである(52年分計、9駅合計も示す)。

52年分と比較して、雨天時、および自転車を使用できないとした場合の構成で、徒歩への転換が減じてバスへの転換が増加しているが、バスの便が整備されたとした場合はほとんど変化がなく、自転車利用者の自転車に対する根強い志向が示されている。

徒歩・バスへ転換す

る者が日頃は自転車を利用する理由は「時間がかかる」72、「寝れる」23、「経費が高くなる」23、「時間がかかる」22、「時間的に不規則」20、「回数が少ない」10、「早朝・夜間にバスの便がない」6であった。

7. あとがき

2年間の調査によってかなりのデータ量が収集された。今後はクロス分析等を進める予定である。調査と集計に労された各位に敬意を表し、感謝する次第である。

1) 金丸高岸,「サイクル&ライドに関する調査研究」,(その1)(その2)、第33回年次学術講演会概要集,pp.35~38,昭和53年9月

表-2 他の交通手段への転換状況

								(%)		
		地下鉄 あびこ	阪和線 我孫子町	上新庄	地下鉄 長居	阪和線 長居	計(53年分 5駅)	52年分 4駅計	9駅計	
雨天時	自転車	35.7	43.1	44.7	29.8	41.5	38.0	31.7	36.1	
	徒歩	27.8	38.5	19.5	39.3	47.9	29.3	44.9	34.0	
	他	25.4	7.7	29.6	21.0	6.4	24.0	12.2	20.6	
	N. A.	9.0	6.2	4.9	8.6	3.2	7.0	9.3	7.5	
	(標本数)	(524)	(65)	(591)	(420)	(94)	(1,694)	(697)	(2,391)	
自転車 を 使 用 し な い と し た 場 合	他の手段 <徒歩>	84.7	70.5	83.5	89.1	80.0	84.0	80.6	83.6	
	<バス>	50.0	83.7	38.6	57.7	75.0	50.3	77.5	57.5	
	他	35.4	11.6	44.1	21.2	15.6	33.1	18.6	29.2	
	N. A.	12.6	24.6	11.9	8.2	16.3	12.0	18.3	13.7	
	(標本数)	(477)	(61)	(545)	(366)	(80)	(1,529)	(584)	(2,113)	
バス が 整 備 さ れ た 場 合	自転車	75.5	82.0	85.0	80.3	78.7	80.4	81.7	80.8	
	バス	17.6	11.5	9.0	12.6	16.3	13.0	11.3	12.5	
	N. A.	6.9	6.5	6.0	7.1	5.0	6.6	7.0	6.7	
		(477)	(61)	(545)	(366)	(80)	(1,529)	(584)	(2,113)	